

福知山市商工会 企業業況調査

平成29年10月調査結果(9月実績 調査対象 91件) (平成29年11月1日公表)

■景況感

| | 今回調査数 | 現状 | | 先行3ヶ月 | | 先行1年 | | |
|-----|-------|------|------|-------|------|------|------|------|
| | | 今回 | 前回 | 今回 | 前回 | 今回 | 前回 | |
| 全体 | 91 | 30.2 | 33.2 | 34.3 | 35.5 | 32.7 | 34.9 | |
| 地域別 | 三和 | 23 | 22.8 | 32.6 | 31.5 | 37.0 | 30.4 | 39.1 |
| | 夜久野 | 28 | 28.6 | 28.6 | 31.3 | 30.4 | 25.9 | 26.8 |
| | 大江 | 39 | 36.5 | 37.5 | 38.5 | 38.9 | 38.5 | 38.9 |
| 業種別 | 製造業 | 20 | 46.3 | 48.8 | 50.0 | 51.3 | 43.8 | 48.8 |
| | 建設業 | 24 | 27.1 | 35.7 | 28.1 | 34.5 | 31.3 | 35.7 |
| | 卸小売業 | 21 | 19.0 | 21.4 | 25.0 | 25.0 | 22.6 | 22.6 |
| | サービス業 | 26 | 29.8 | 28.8 | 35.6 | 32.7 | 33.7 | 33.7 |

景況感DIの算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出
 良い+1.0、やや良い+0.75、どちらともいえない+0.5、やや悪い+0.25、悪い+0.0
 (すべてが「どちらともいえない」と回答した場合、DIは「50.0」)

※旧福知山市の事業所があるため、地域別と業種別の調査数は異なる。

景況感DIは30.2と前回調査よりも3.0ポイントの悪化となった。地域別では、三和町地域がマイナス9.8ポイントの落ち込みとなっている。業種別では、製造業を除いた3業種で65~80%の事業者が、「やや悪い、悪い」と厳しい回答となっている。前回との対比では、建設業の落ち込みが目立つ一方で、サービス業はわずかながら好転している。

先行調査では、先行3ヶ月が34.3、先行1年が32.7であり、前回との対比ではそれぞれ1.2ポイント、2.2ポイントのマイナスとなった。現状と同様に、地域別には三和町地域での落ち込みが目立つ。業種別では製造業を除いた3業種で厳しい見通しとなっている。

■経営動向

○製造業・建設業

| | 今期 | | 前年同期比 | | 前期比 | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 今回 | 前回 | 今回 | 前回 | 今回 | 前回 |
| 引合 | | | -22.7 | -2.4 | -20.5 | -17.1 |
| 売上 | | | -20.5 | -7.3 | -22.7 | -19.5 |
| 採算 | 4.5 | 7.3 | -22.7 | -19.5 | -15.9 | -24.4 |
| 資金繰り | -6.8 | -19.5 | | | | |
| 業況 | -20.5 | -24.4 | | | | |

経営動向DIの算出方法

「良い」とみる割合(%)から、「悪い」とみる割合(%)を引いてDIを算出

(「良い」と「悪い」の割合が同じ場合、DIは「0」)

(製造業・建設業)グループと、(卸小売業・サービス業)グループに分類して集計をしている。

○卸小売業・サービス業

| | 今期 | | 前年同期比 | | 前期比 | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| | 今回 | 前回 | 今回 | 前回 | 今回 | 前回 |
| 売上 | | | -53.2 | -27.7 | -42.6 | -4.3 |
| 客数 | | | -51.1 | -38.3 | -48.9 | 2.1 |
| 客単価 | | | -34.0 | -25.5 | -36.2 | -8.5 |
| 採算 | -14.9 | 2.1 | | | | |
| 資金繰り | -29.8 | -23.4 | | | | |
| 業況 | -48.9 | -36.2 | | | | |

★今期の経営動向

採算においては、製造業・建設業が4.5と前回調査よりも悪くなったもののプラス値を維持している。一方、卸小売業・サービス業は、-14.9とマイナスに転落した。

資金繰りや業況については、製造業・建設業で改善傾向が見られるものの、卸小売業・サービス業では悪化するなど、すべての業種でマイナス値であり、引き続き厳しい状況が続いている。

★前年同期比、前期比

すべての調査項目で、前年同期比、前期比ともにマイナスとなっている。また、一部の調査項目を除き、前回と比較しても悪化している。特に、卸小売業・サービス業で厳しい数値となっている。

ただし、個々の回答においては、40~50%の事業者が不変と回答しており、製造業・建設業では15~20%の事業者が増加(好転)と回答している。

■今期直面している経営上の問題点 (業種別上位5項目 項目の後の()は前回順位、業種の後の数字は選択された数)

| | 製造業(42) | | 建設業(58) | | 卸小売業(53) | | サービス業(58) | |
|----|--------------|-------|-------------------|-------|------------------|-------|--------------|-------|
| 1位 | 従業員の確保難(2) | 21.4% | 競争の激化(1) | 24.1% | 需要の停滞(3) | 20.8% | 仕入価格の上昇(1) | 17.2% |
| 2位 | 設備の不足、老朽化(1) | 14.3% | 従業員の確保難(3) | 17.2% | 競争の激化(1) | 18.9% | 需要の停滞(2) | 17.2% |
| 3位 | 人件費の増加(4) | 14.3% | 需要の停滞(2) | 13.8% | 消費者ニーズの変化への対応(2) | 11.3% | 設備の不足、老朽化(3) | 12.1% |
| 4位 | 競争の激化(8) | 9.5% | 消費者ニーズの変化への対応(6) | 12.1% | 仕入価格の上昇(6) | 9.4% | 競争の激化(7) | 10.3% |
| 5位 | | | 仕入・人件費以外の経費の増加(4) | 8.6% | 販売価格の低下(5) | 9.4% | 従業員の確保難(4) | 10.3% |

全体的な傾向としては、前回調査でも上位にあげられた事項が今回も上位を占めており、大きな違いは見られない。その中で、製造業や建設業で「従業員の確保難」をあげる事業者が増えてきている点、及び卸小売業やサービス業で「需要の停滞」をあげる事業者が増えてきている点の2点が今回の特徴としてあげられる。なお、前者は全国的な傾向であり、福知山ハローワークの有効求人倍率も上昇傾向にあることから、今後も問題点として上位にあげられる可能性が高いと考えられる。

■向こう1年間の設備投資の計画

| あり (18事業者 28案件) | | | | | なし |
|-----------------|--------|---------|-------|-------|----|
| 上段:投資金額 | | 下段:投資対象 | | | |
| 1000万以上 | ~1000万 | ~500万 | ~100万 | 73事業者 | |
| 6 | 0 | 10 | 2 | | |
| 土地 | 建物 | 機械重機 | 什器備品 | | 車両 |
| 2 | 6 | 9 | 6 | 5 | |

実施事業者数/事業者数

| 業種別 | | 地域別 | |
|-------|-------|-----|-------|
| 製造業 | 5/20 | 三和 | 4/23 |
| 建設業 | 5/24 | 夜久野 | 7/28 |
| 卸小売業 | 2/21 | 大江 | 7/39 |
| サービス業 | 6/26 | | |
| 合計 | 18/91 | 合計 | 18/90 |

全体の20%である18事業者が、向こう1年間に28案件の設備投資を計画しており、内、6事業者で総額1000万円を超える計画を有している。設備投資の対象としては、製造業や建設業での計画が多いこともあり、機械重機の割合が若干多くなっている。業種別では卸小売業の計画が少なく、他の3業種では大きな差異は見られない。地域別についても際立った違いは見られない。

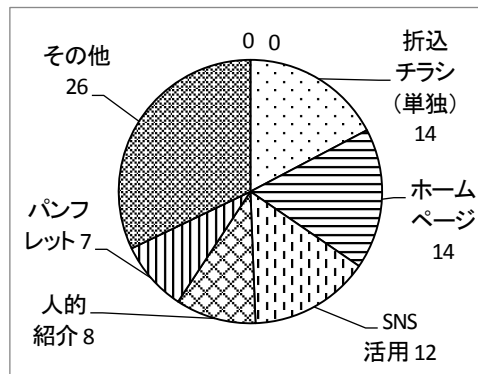
■過去1年間に実施した販路開拓ツール

(15個の選択肢から複数個選択回答 項目の後の数字は選択された数)

過去1年間に実施した販路開拓ツールとしては、91事業者の内、44事業者(48%)から、81点の販路開拓ツールを利用した旨の回答をであった。視点を変えれば、半数強の事業者が販路開拓をしていないということであり、実施した販路開拓ツール数が平均2点以下(1.84点)であることから、販路開拓について全体的に消極的であるとの傾向が読み取れる。

業種別では、サービス業で実施する事業者が多く、製造業で少ない。地域別では三和町地域が少ない。折込チラシ(単独)は、製造業を除く3業種からほぼ均等の回答を得た。ホームページやSNS活用はすべての業種で実施されている。とりわけ、サービス業において実施しているとの回答が多い。

(実施事業者数/事業者数)

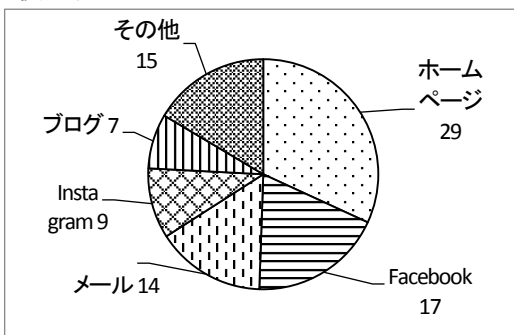


| 業種別 | |
|-------|-------|
| 製造業 | 3/20 |
| 建設業 | 14/24 |
| 卸小売業 | 13/21 |
| サービス業 | 17/26 |
| 合計 | 47/91 |
| 地域別 | |
| 三和 | 7/23 |
| 夜久野 | 19/28 |
| 大江 | 20/39 |
| 合計 | 46/90 |

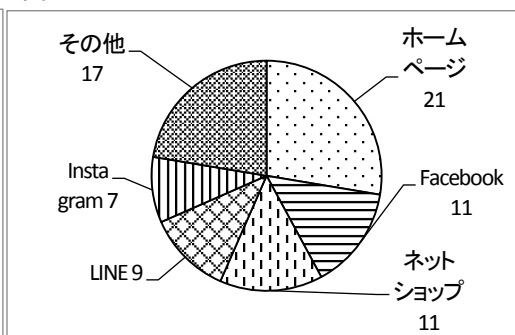
■インターネットツールの使用状況と関心

(複数個選択回答 項目の後の数字は選択された数)

使用状況



関心



(実施事業者数/事業者数)

| 業種別 | | |
|-------|---------|---------|
| 製造業 | 使用 8/20 | 関心 8/20 |
| 建設業 | 13/24 | 12/24 |
| 卸小売業 | 11/21 | 11/21 |
| サービス業 | 15/26 | 14/26 |
| 合計 | 47/91 | 45/91 |
| 地域別 | | |
| 三和 | 10/23 | 9/23 |
| 夜久野 | 18/28 | 16/28 |
| 大江 | 18/39 | 20/39 |
| 合計 | 46/90 | 45/90 |

47事業者から、91点のインターネットツールの使用状況の回答を得た。概ね半数の事業者が平均2つのツールを使用しているとの結果となっている。使用が多いツールとしてはホームページが6割を超えており、次いでFacebook、メール、Instagramと続いている。業種別、地域別には際立った特徴は見られない。

ツールへの関心があると回答した事業者は、現在使用している事業者と重なっている。このことから、現時点でインターネットツールを使用していない事業者の多くでは、今後も使用しない可能性が高いと推定される。関心があるツールとしては、ネットショップやLINEの選択が多いのが特徴である。

この調査は、福知山市商工会会員事業所を対象として、景気判断や経営動向等を明らかにし、売上向上を目指した事業計画の策定、販路開拓や商品開発、事業承継、経営改善等経営力向上を推進する基礎資料として活用することを目的に実施しています。

次回は平成29年10月~12月の状況について、平成30年1月に調査する予定です。商工会の支援員が調査にお伺いしますので、調査対象の事業所様には引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。